

講義概要 (シラバス)

科目名 医療概論Ⅱ	実施時期： 3年次後期 単 位： 1単位 時間数： 15時間	担当 非常勤講師																											
授業目標 1. 医療の歩みと社会のニーズを知り、医療職者としての基本的な考え方を理解できる。 2. 専門職としての看護師の役割について考えることができる。																													
授業内容・授業計画 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">1回</td> <td style="width: 20%;">11月27日(水) 1限</td> <td>我が国の医療システム</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>11月27日(水) 2限</td> <td>救急医療・集中治療・がん治療</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>12月4日(水) 1限</td> <td>周産期医療・放射線診断・チーム医療・リハビリテーション</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>12月4日(水) 2限</td> <td>介護、医の倫理</td> </tr> <tr> <td>5回</td> <td>12月11日(水) 1限</td> <td>医療安全・医薬品</td> </tr> <tr> <td>6回</td> <td>12月11日(水) 2限</td> <td>最先端医療</td> </tr> <tr> <td>7回</td> <td>12月18日(水) 1限</td> <td>医療情報</td> </tr> <tr> <td>8回</td> <td>12月18日(水) 2限</td> <td>医療経済・医療政策</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月23日(水) 1限</td> <td>終講テスト</td> </tr> </table>			1回	11月27日(水) 1限	我が国の医療システム	2回	11月27日(水) 2限	救急医療・集中治療・がん治療	3回	12月4日(水) 1限	周産期医療・放射線診断・チーム医療・リハビリテーション	4回	12月4日(水) 2限	介護、医の倫理	5回	12月11日(水) 1限	医療安全・医薬品	6回	12月11日(水) 2限	最先端医療	7回	12月18日(水) 1限	医療情報	8回	12月18日(水) 2限	医療経済・医療政策		12月23日(水) 1限	終講テスト
1回	11月27日(水) 1限	我が国の医療システム																											
2回	11月27日(水) 2限	救急医療・集中治療・がん治療																											
3回	12月4日(水) 1限	周産期医療・放射線診断・チーム医療・リハビリテーション																											
4回	12月4日(水) 2限	介護、医の倫理																											
5回	12月11日(水) 1限	医療安全・医薬品																											
6回	12月11日(水) 2限	最先端医療																											
7回	12月18日(水) 1限	医療情報																											
8回	12月18日(水) 2限	医療経済・医療政策																											
	12月23日(水) 1限	終講テスト																											
受講上の注意	評価方法 筆記試験を行い、60点以上を合格とする。																												
テキスト・参考書 系統看護学講座 専門基礎分野 医療概論 健康支援と社会保障制度① (医学書院)																													

科目名 看護のマネジメント	実施時期： 3年次 前期 単 位： 1単位 時間数： 30時間	担 当 非常勤講師 松元 マキ 他
授業目標 1. 看護におけるマネジメントと意義が理解できる。 2. 看護職が提供するケアマネジメントが理解できる 3. 看護業務の実践に必要なマネジメントが理解できる。 4. 看護サービスのマネジメントについて理解できる 5. 看護サービス提供の仕組みと医療制度について理解できる。		
授業内容・授業計画 I 看護におけるマネジメント 1. 看護とマネジメント 1) 看護管理における概念形成 2) 看護におけるマネジメントとその意味 2. ケアマネジメント 1) 看護ケアマネジメント ①プロセス ②役割 ③患者の権利 ④安全管理 ⑤チーム医療 2) 看護業務の実践 3. サービス管理 1) サービスとしての看護 2) サービス提供の場 3) マネジメントの基本 4) リーダーシップとマネジメント 4. 看護サービスマネジメント 1) 看護サービス管理 2) 看護サービスの提供づくり ①看護単位 ②看護ケア提供システム ③人材マネジメント ④労働環境 3) 組織におけるリスクマネジメント II 演習：日常業務のマネジメント 1. チーム医療、看護の継続性 2. 事例展開 ①複数受け持ち患者の事例展開 ②複数受け持ち患者の行動計画 3. 看護業務の実践 ①朝のカンファレンス時の課題 ②状況変化と計画の修正（午前・午後） ③報告事項と申し送り内容の明確化 4. 多重課題の処理 ①多重課題の危険性 ②対応の原則 ③自己の課題		
受講上の注意 専門分野で活躍中の講師を招き、現場に即した状況で行います。積極的に受講して下さい。	評価方法 1) 終講テスト 2) ルーブリック評価	
テキスト・参考書 茂野 香おる他：系統看護学講座 看護学概論 第17版 医学書院 上泉 和子他：系統看護学講座 看護管理 第11版 医学書院		
実務経験： 本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である。		

科目名 看護の実践と安全Ⅲ	実施時期： 3年次 通年 単 位： 1単位 時間数 : 30時間	担 当 松元 マキ
授業目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. あらゆる健康レベルと発達段階にある対象に必要な看護を判断し、一部実践できる。 2. 専門職の役割・機能の理解を深め、ケアの質を改善するための多職種連携について考える。 3. 自己の目指す看護職の役割を探求できる。 4. 医療システムの中の危険性を知り、事故防止のための知識・技術を修得できる。 5. 援助に潜むリスクを説明でき、対象の状態・状況に応じた必要な看護を実践できる。 		
授業内容・授業計画 <ol style="list-style-type: none"> I 看護の実践Ⅲ <ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種連携教育 (IPE) <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者志向の支援 2) 日常生活を営む際のニーズ 3) 自らのめざす職種においてできることの探求 (専門職の強みと弱み) 4) 多職種間のコミュニケーション、社会人基礎力 2. 多職種連携の推進、保健医療福祉システムの提供と支援の理解、 3. 多職種カンファレンス (模擬) II 医療安全Ⅲ <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護事故防止の基本 2. 診療介助技術の事故防止 <ol style="list-style-type: none"> ①診療補助技術における看護師の役割と事故防止の基本 ②注射業務プロセスと事故防止 3. 安全なチューブ管理 <ol style="list-style-type: none"> ①チューブ・ドレーンの目的と看護師の役割 ②チューブ挿入中の事故防止 4. 安全なチューブ管理の実際 (演習) <ol style="list-style-type: none"> ①チューブ挿入中の事故防止の実際 ②医療事故発生時の対応 (倫理的対応) 5. OSCE 試験 		
受講上の注意 <p>*グループ討議をとおして、コミュニケーションスキルやメンバーシップを身につける。</p> <p>*臨床に近い状況をイメージできるよう主体的に取り組むこと。</p>	評価方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全：出席、課題、OSCE 試験。確認テスト 2) 看護の実践：出席、課題、グループ成果物 	
テキスト・参考書 <p>茂野 香おる他：系統看護学講座 看護学概論 第17版 医学書院</p> <p>上泉 和子 他：系統看護学講座 看護管理 第11版 医学書院</p> <p>川村 治子 他：系統看護学講座 医療安全 第4版 医学書院</p> <p>任 和子 他：系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 第18版 医学書院</p>		
実務経験： 本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である。		

科目名 キャリア開発	実施時期： 3年次 後期 単 位： 1/2単位 時間数 : 7/15時間	担 当 松元 マキ 他
授業目標 1. 看護職としてのキャリアマネジメントについて理解できる。 2. 自己のキャリア形成について考える。		
授業内容・授業計画 1. 看護職のキャリアマネジメント 1) 看護職のキャリアとは 2) キャリアラダー 3) 活躍している看護専門職の講話 ・認定看護師等との対話 2. 自己のキャリア形成 1) 自己理解セミナー 2) 自身のキャリアプラン ・看護専門職としての成長（社会化）		
受講上の注意 1) 認定看護師等の経験を直接聴講できる貴重な機会である。主体的に取り組むこと。 2) グループワークにおける“学び方”をしっかりと守り、積極的に参加する	評価方法 1) 課題レポート 2) 出席・取り組み状況	
テキスト・参考書 茂野 香おる他：系統看護学講座 看護学概論 第17版 医学書院 上泉 和子他：系統看護学講座 看護管理 第11版 医学書院		
実務経験 ：本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である。		

科目名 国際看護	実施時期 ： 3年次後期 単 位 ： 1/2 単位 時間数 ： 7/15 時間	担 当 非常勤講師
授業目標 1. 諸外国における保健・医療・福祉の課題を知ることができる。 2. 国際協力の仕組みを理解し、国際看護の原則と具体的活動の展開を理解できる。		
授業内容・授業計画 I. 国際看護とは (詳細は後日提示予定)		
受講上の注意 *主体的に参加すること	評価方法 1) 課題レポート 2) 出席・取り組み	
テキスト・参考書 1) 茂野 香おる：系統看護学講座 看護学概論 医学書院		
実務経験 ：本科目は看護師として実務経験のある教員による授業である。		

科目名 災害看護	実施時期： 3年次 前期 単 位： 1単位 時間数： 20時間	担 当 非常勤講師 松元 マキ 他																
授業目標 1. 災害医療の基礎知識を理解できる。 2. 災害看護の基礎知識を理解できる。 3. 災害サイクルに応じた看護活動について理解できる。																		
授業内容・授業計画 I 再看護の基礎知識 <table border="1" data-bbox="300 725 1474 1267"> <thead> <tr> <th></th> <th>内 容</th> <th>授業方法</th> <th>使用教材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 / 1 1 (木)</td> <td>災害の理解と災害医療 ・災害の定義、種類と特徴 ・災害医療の基礎知識</td> <td>講義形式</td> <td>テキスト 配布資料 DVD</td> </tr> <tr> <td>4 / 1 1 (木)</td> <td>災害看護の基礎知識 ・最看護の特徴 ・災害時のこころのケア</td> <td>講義・演習形式 (グループワーク・ ロールプレイ)</td> <td>テキスト 配布資料 小冊子 DVD</td> </tr> <tr> <td>4 / 1 1 (木)</td> <td>災害サイクルに応じた看護活動 ・災害サイクル別の看護活動 ・トリアージ</td> <td>講義・演習形式 (トリアージ演習)</td> <td>テキスト 配布資料 トリアージタグ DVD</td> </tr> </tbody> </table> II 災害看護の実際 1. 鹿児島県の災害と防災 ・鹿児島県防災センター見学 2. 災害発生時の対応 ・演習：学校が避難所になったら？ 3. 災害弱者（外国人、高齢者）への対応				内 容	授業方法	使用教材	4 / 1 1 (木)	災害の理解と災害医療 ・災害の定義、種類と特徴 ・災害医療の基礎知識	講義形式	テキスト 配布資料 DVD	4 / 1 1 (木)	災害看護の基礎知識 ・最看護の特徴 ・災害時のこころのケア	講義・演習形式 (グループワーク・ ロールプレイ)	テキスト 配布資料 小冊子 DVD	4 / 1 1 (木)	災害サイクルに応じた看護活動 ・災害サイクル別の看護活動 ・トリアージ	講義・演習形式 (トリアージ演習)	テキスト 配布資料 トリアージタグ DVD
	内 容	授業方法	使用教材															
4 / 1 1 (木)	災害の理解と災害医療 ・災害の定義、種類と特徴 ・災害医療の基礎知識	講義形式	テキスト 配布資料 DVD															
4 / 1 1 (木)	災害看護の基礎知識 ・最看護の特徴 ・災害時のこころのケア	講義・演習形式 (グループワーク・ ロールプレイ)	テキスト 配布資料 小冊子 DVD															
4 / 1 1 (木)	災害サイクルに応じた看護活動 ・災害サイクル別の看護活動 ・トリアージ	講義・演習形式 (トリアージ演習)	テキスト 配布資料 トリアージタグ DVD															
受講上の注意 4月18日・25日は演習がありますので、動きやすい服装で出席して下さい。 演習での課題に主体的に取り組み、グループワークへ積極的に参加すること。	評価方法 1) 確認テスト 2) 課題レポート 3) グループ成果物																	
テキスト・参考書 茂野 香おる他：系統看護学講座 看護学概論 第16版 医学書院 ＊庄野泰乃他：系統看護学講座 災害看護・国際看護 第5版 医学書院 ＊災害時のこころのケア 日本赤十字社																		
実務経験： 本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である。																		

科目名 看護研究	実施時期： 3年次通年 単 位： 1 単位 時間数： 30 時間	担 当 松元 マキ 他
授業目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の意義と方法がわかる 2. 受け持ち患者の看護を研究目的に沿って事例展開し、問題解決能力を養う 3. 論文の書き方や発表方法について学ぶ 4. 自己の学習内容を明確にし、評価・検討を加えることで学習の成長に役立てる 		
授業内容・授業計画 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の意義と研究方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護研究の意義・目的 2) 研究方法 4) 研究の倫理 2. 看護研究の実際 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護研究計画書の作成 2) ケースの選択と進め方 3) 文献検索 4) 論文作成 3. 研究発表（プレゼンテーション） <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究発表（プレゼンテーション） 2) 発表評価 		
受講上の注意 <p>主体的・積極的に取り組む姿勢が求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の研究に対する真摯な姿勢、 ・ 地道に時間をかけ取り組む姿勢 <p>自ら担当教員と連絡を取り、指導日程を調整する</p>	評価方法 <ol style="list-style-type: none"> ①小テスト ②研究計画書の提出 ③指導過程（5回以上の指導と取り組み姿勢） ④ケース・スタディ論文の内容評価 ⑤研究発表 	
テキスト・参考書 <p>坂下 玲子著：系統看護学講座 別巻 看護研究、第2版、医学書院、2023</p> <p>*松本 孚・森田夏実、新版看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方、照林社、257p</p> <p>*李 節子、看護研究こころえ帳－研究の基本からプレゼンテーションまで－：第2版、医歯薬出版、2013、108p</p>		

科目名 保健指導論	実施時期： 3 学年前期 単 位： 1 時間数 : 30 時間	担 当 福重 敬子
授業目標 1. 対象の特性に応じた健康の維持・増進、疾病の予防に必要な看護を理解できる。 2. 対象のセルフケア能力とニーズを把握し、その人らしい生活を維持するための保健指導が、理解できる。		
授業内容・授業計画 1. 対象特性に応じた学習の特徴 アンドラゴジー・ペタゴジー・ジェロゴジー 健康観 2. プレパレーション 子供と家族への生活指導 3. 健康行動への行動変容 自己効力感 4. ヘルスプロモーションと保健施策 健康の保持・増進のための支援 5. 生活の継続と支援 健康日本 21 生活習慣病の予防と対策		
受講上の注意 ・演習は積極的に望むこと	評価方法 1. 演習態度 (出席状況含む) 2. 提出物 3. 終講テスト	
テキスト・参考書 茂野香おる 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 医学書院 小松浩子 系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院 奈良間美保 系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 医学書院 森 恵美 系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 医学書院 川原加代子 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅の基礎 医学書院 安酸史子 ナーシンググラフィカ セルフマネジメント メディカ出版 国民衛生の動向 他		
実務経験： 本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である。		